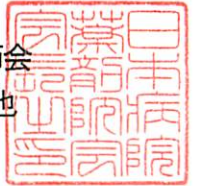


日病薬発第23-78号

平成23年6月29日

都道府県病院薬剤師会会長 殿

社団法人 日本病院薬剤師会
会 長 堀 内 龍 也



薬剤師ボランティアの募集について
～ 公立志津川病院、女川町立病院 ～

平素より、本会の事業にご高配を賜り御礼申し上げます。

本会では、6月22日付きで会員に「薬剤師ボランティア応募のお願い～公立志津川病院、女川町立病院での継続した医療支援活動～」(別添)をホームページに掲載して、薬剤師ボランティアを募っております。

薬剤師ボランティアの募集については、これまで2回にわたりホームページに掲載したところ、現在までに(6月27日13時)薬剤師ボランティア登録者数は317名となっており、そのうち203名(延べ737名)の方に岩手県の県立大船渡病院、宮城県の石巻赤十字病院、女川町立病院、公立志津川病院、福島県のいわき市立総合磐城共立病院、舞子浜病院、ひらた中央病院等で医療支援活動を行っていただきました。

あらためて、ボランティア派遣にご協力いただいた都道府県病院薬剤師会会長に御礼申し上げます。

なお、現在では多くの病院で医療が落ち着いてきており、現在の薬剤師ボランティアの派遣先は、女川町立病院、公立志津川病院の薬剤部だけになっております。

しかしながら、女川町立病院、公立志津川病院ともに薬剤師数が諸事情で減少しており、近隣の調剤薬局は壊滅している為に処方せん枚数がいまだに多く、薬剤師は疲弊しており深刻な状況となっております。

本会では、このような状況に鑑み、もう暫くの間継続して薬剤師を募集し、派遣することとしました。

つきましては、都道府県病院薬剤師会会長におかれましては、会員にこの旨を情報提供していただき、積極的に薬剤師ボランティアに参加登録していただくよう要請いたします。

平成23年6月22日

会 員 各 位

社団法人 日本病院薬剤師会
会 長 堀 内 龍 也

薬剤師ボランティア応募のお願い

～ 公立志津川病院、女川町立病院での継続した医療支援活動 ～

平成23年3月11日（金）に東日本大震災（東北地方太平洋沖大地震）が発生してから、早くも3ヶ月間が経過しましたが、いまだに多くの被災者が避難生活を余儀なくされております。本会は、これまで医療支援活動に従事する薬剤師ボランティアを被災地に派遣してまいりました。あらためて、ボランティアに応募していただきました皆様方に御礼申し上げます。

現在（6月21日13時）までの本会薬剤師ボランティア登録者数は305名となっており、そのうち194名（延べ713名）の方に岩手県の県立大船渡病院、宮城県の石巻赤十字病院、女川町立病院、公立志津川病院、福島県のいわき市立総合磐城共立病院、舞子浜病院、ひらた中央病院等で医療支援活動を行っていただきました。

現在では多くの病院で医療が落ち着いてきており、現在の薬剤師ボランティアの派遣先は、女川町立病院、公立志津川病院の薬剤部だけになっております。

特に、公立志津川病院は、東日本大震災により、津波で5階建て病棟の4階まで浸水し、診療不能となっておりますが、4月18日にイスラエル軍が設置した仮設の建物で外来診療を再開し、薬剤師3名に複数のボランティアで薬剤師業務を行っております。

さらに、35km離れた登米市米山に6月から開設する病棟に薬剤師1名を配置するとのことです。このため、1日に約200枚の外来処方せんの調剤を2名の薬剤師で行わなければならない、薬剤師が疲弊しており、深刻な状況になっております。

今般、同病院の院長から、本会の会長宛に院内の体制が整備されるまでの間、2名の薬剤師を継続して派遣して欲しいとの要請がありました。また、女川町立病院においても、同様に厳しい状況であり、薬剤師の派遣が要請されております。

本会では被災地の医療体制を維持し、復興させるために、出来るだけの支援を続けたいと考えております。そこで、下記の要領をご確認のうえ、積極的にボランティアに参加登録して下さるよう要請いたします。

記

1. 対象者

以下の①から④の全てを満たすことができる方。

- ① 本会の負担でボランティア保険に加入していただきますので、病院・診療所に従事している日本病院薬剤師会の会員で実務経験がある薬剤師であること。
- ② 施設長および所属長の許可が得られること。
- ③ 現地での業務に耐えうる健康状態であること。
- ④ 派遣先の医療機関の方に迷惑をかけられませんので、現地までの交通手段、宿泊をご自分で確保できること（無理な場合には事務局とご相談下さい）。
公共交通機関の利用は出来ます。

2. 派遣先

公立志津川病院仮設診療所 *南三陸町ベイサイドアリーナ駐車場内
宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田
女川町立病院 宮城県牡鹿郡女川町

3. 派遣先での業務内容

病院内で薬剤師業務を行っていただく予定です。

4. 派遣期間

派遣期間は、応募された方のご希望等を踏まえた上で調整いたしますが、出来れば1週間、日曜日は休診ですので少なくとも平日の3日以上でお願いいたします。

5. 応募方法

- (1) 以下のアイコンをクリックしてボランティア登録名簿.xls をダウンロードして下さい。
ボランティア登録名簿 (EXCEL)

- (2) ダウンロードしたエクセル表 (ボランティア登録名簿.Xls) に必要事項を入力していただき、災害対策本部 (honbu@jshp.or.jp) にメールで添付してお送り下さい。

6. 留意事項

- (1) 現地で医療支援活動を行う方は、日本病院薬剤師会ボランティア保険に加入いたします。保険料は本会が負担しますので、個人負担はございません。
- (2) 現地に行かれる際には、薬剤師であることを証明できるもの（例：勤務先の身分証明書）を必ず持参して下さい。

7. 応募された後の手順

- (1) 応募いただいた方の情報を派遣先の連絡拠点に連絡し、活動期間等について調整を行い、決定しましたら登録された電話、メールでご連絡します。
- (2) 医療支援活動が終了しましたら、氏名、所属名、終了日を記載したメールを災害対策本部 (honbu@jshp.or.jp) にお送り下さい。

〈問い合わせ先〉

日本病院薬剤師会災害対策本部：事務局 ☎ 03-3406-0485

E-mail: honbu@jshp.or.jp



〈参 考〉

公立志津川病院仮設診療所までの公共交通機関でのルート

1) 仙台より宮城交通の高速バス（佐沼便）

<http://www.miyakou.co.jp/cms/express/desc/22/>

登米（とめ）市役所前で下車し、タクシーを利用（南三陸町まで約 30km）。

宮城交通の高速バスの運行状況の確認が必要です

登米市役所のバスセンターのタクシーの確認が必要です

2) JR仙台駅～小牛田駅～前谷地～石巻駅か

JR古川駅～小牛田駅～前谷地～石巻駅で

石巻駅よりタクシーを利用（南三陸町まで約 40km）

石巻駅のタクシーの確認が必要です

女川町立病院までの公共交通機関でのルート

JR仙台駅～小牛田駅～前谷地～石巻駅か

JR古川駅～小牛田駅～前谷地～石巻駅で

石巻駅よりタクシーを利用（女川町まで約 16km）